

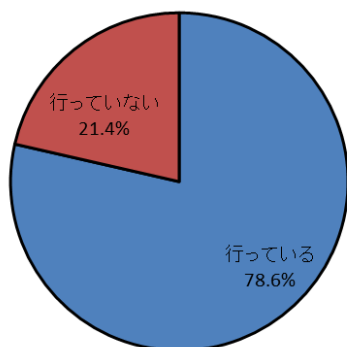
小学校アンケート集計

※回答いただいた方：57名

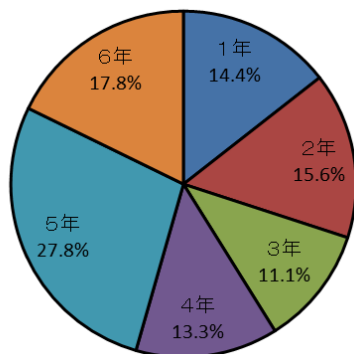
問1 あなたの学校では、どのような内容の消費者教育を行っていますか。【複数回答可】
また、それぞれにつき、行っている学年、時間数を教えてください。

《①お金について（お金の大切さ、役割、お小遣いの使い方 等）》

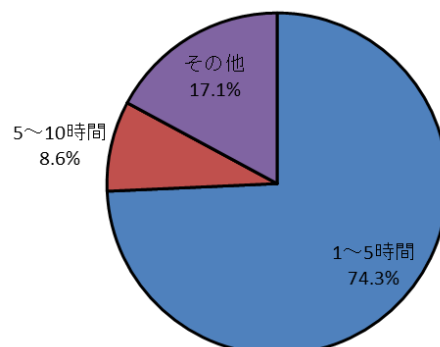
【行っているか】



【行っている学年】

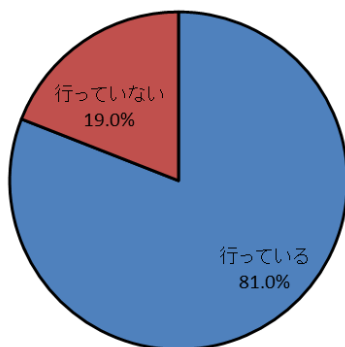


【時間数】

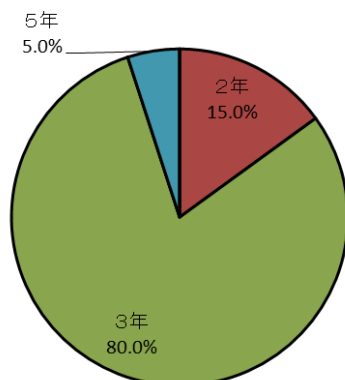


《②消費者と販売者の関係について（スーパーマーケット見学等）》

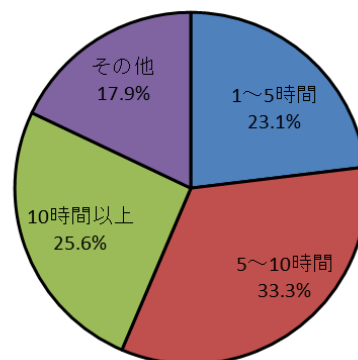
【行っているか】



【行っている学年】

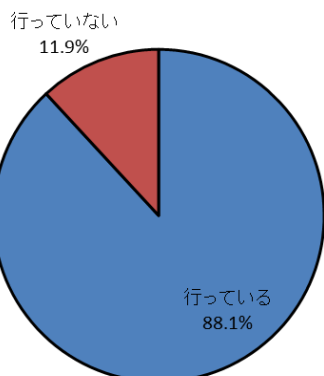


【時間数】

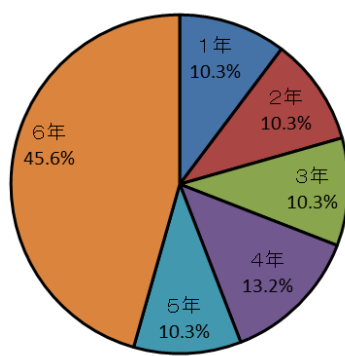


《③情報モラル教育（携帯電話・スマートフォン・インターネットに関する教育 等）》

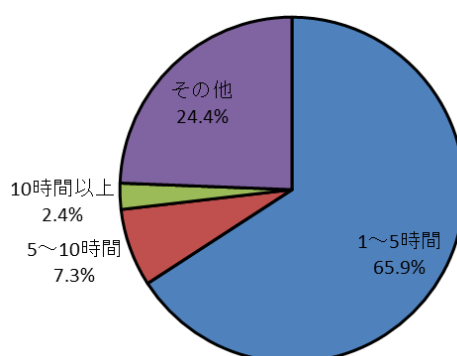
【行っているか】



【行っている学年】

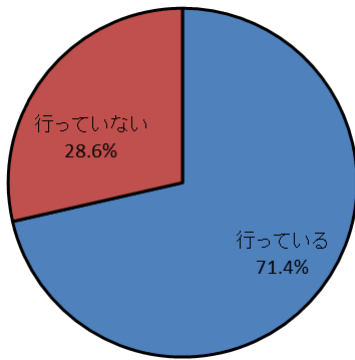


【時間数】

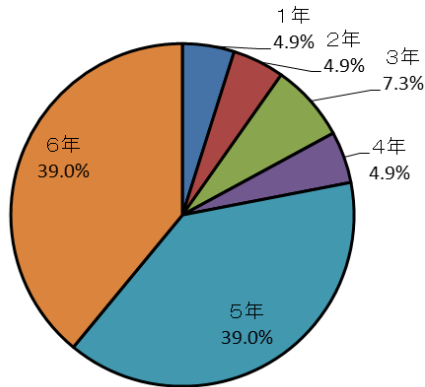


《④食品や製品の安全と表示について》

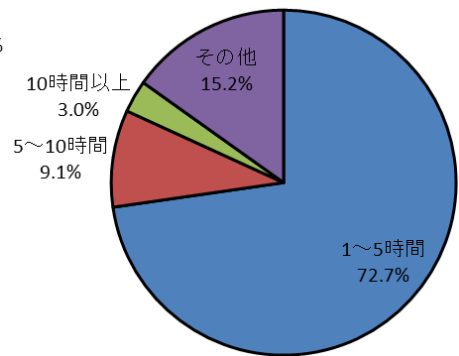
【行っているか】



【行っている学年】

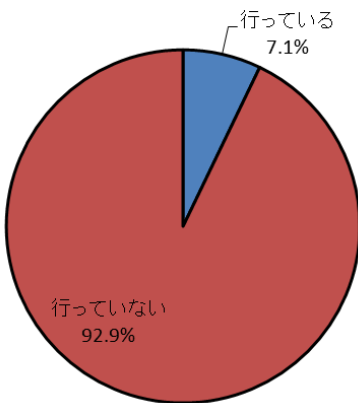


【時間数】

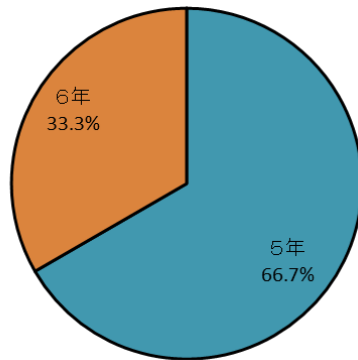


《⑤悪質商法、振り込め詐欺、投資詐欺 等》

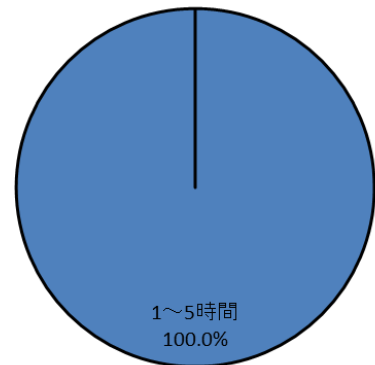
【行っているか】



【行っている学年】

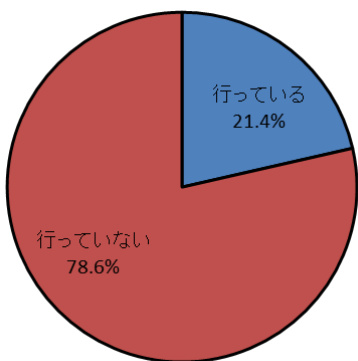


【時間数】

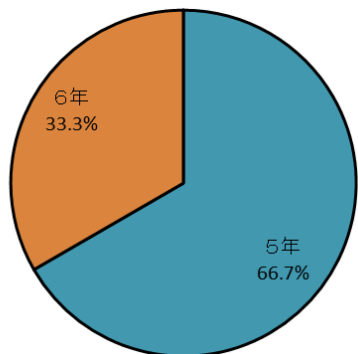


《⑥プリペイドカード、クレジットカードの仕組みについて》

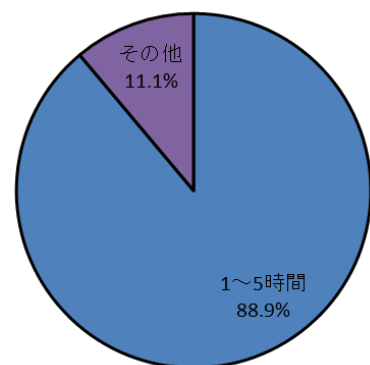
【行っているか】



【行っている学年】

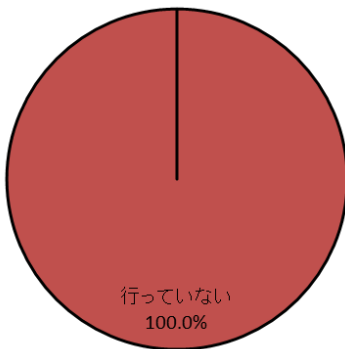


【時間数】



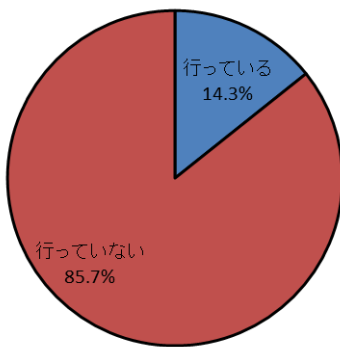
《⑦契約とはなにか》

【行っているか】

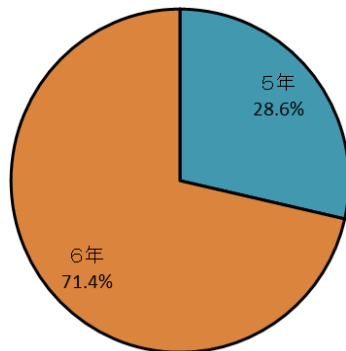


《⑧クーリング・オフ制度等》

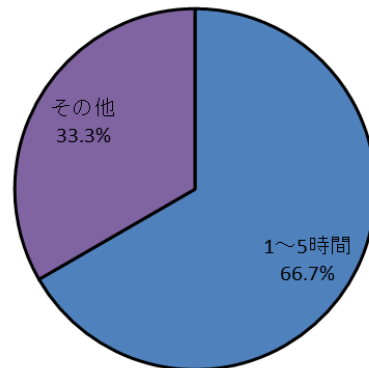
【行っているか】



【行っている学年】

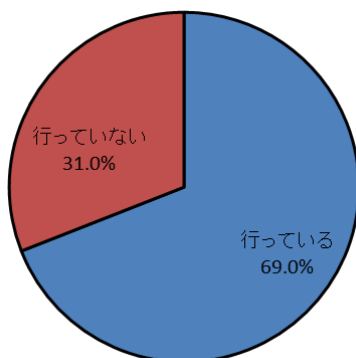


【時間数】

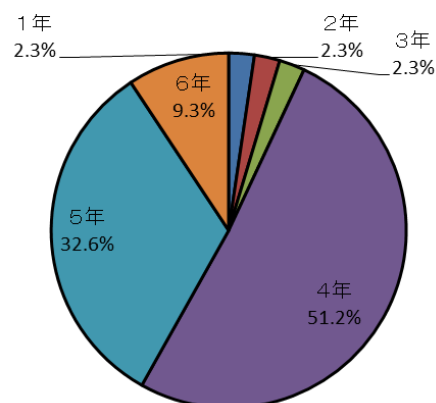


《⑨環境教育に関すること（グリーンコンシューマー 等）》

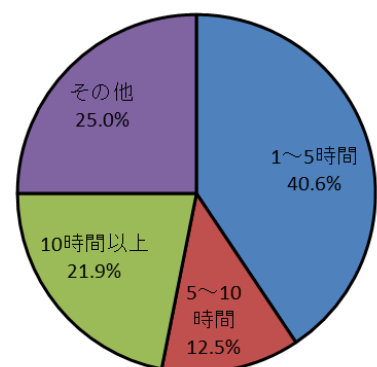
【行っているか】



【行っている学年】

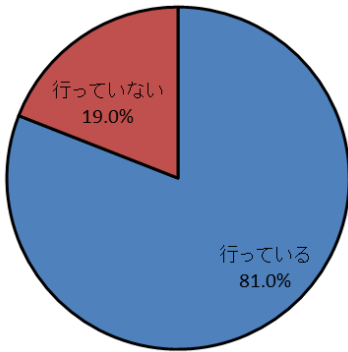


【時間数】

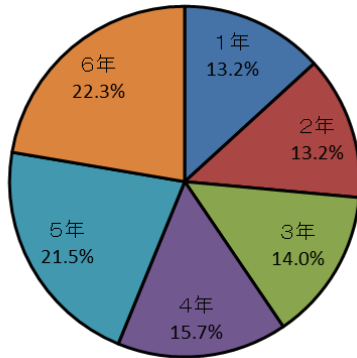


《⑩食育に関すること》

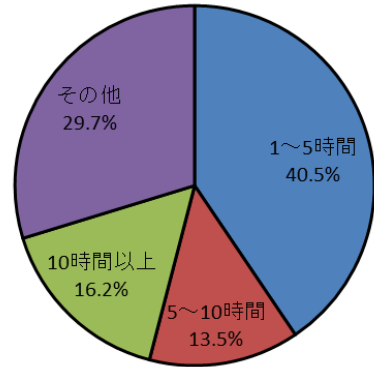
【行っているか】



【行っている学年】

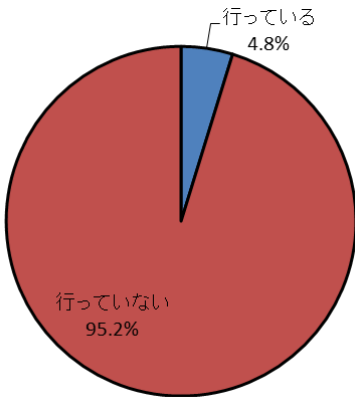


【時間数】

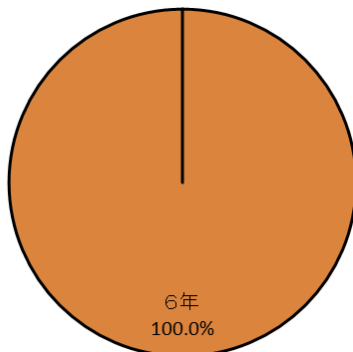


《⑪多重債務・家計管理》

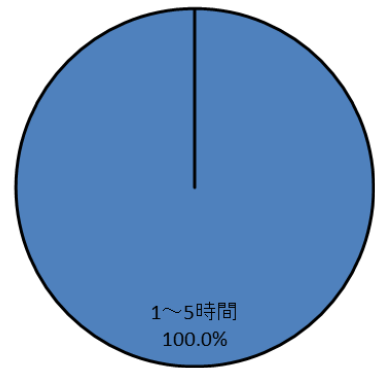
【行っているか】



【行っている学年】

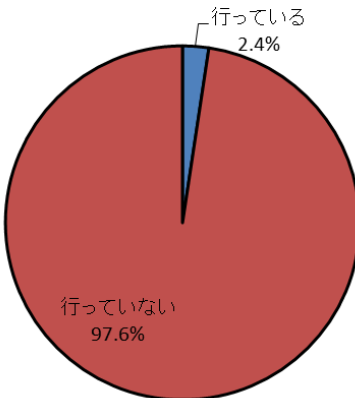


【時間数】

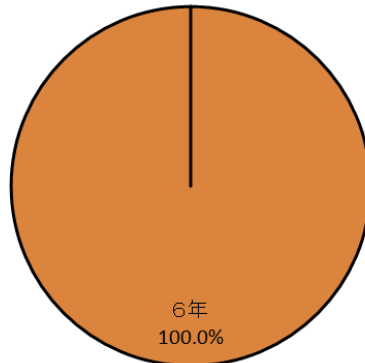


《⑫フェアトレード》

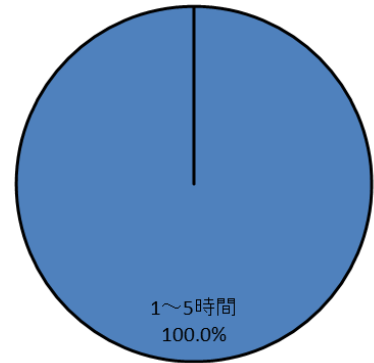
【行っているか】



【行っている学年】

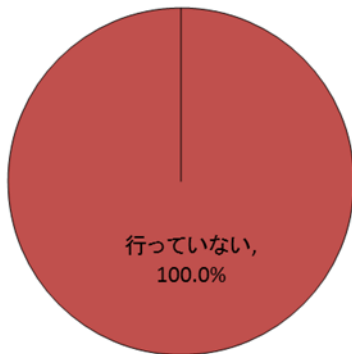


【時間数】



《⑬金融商品・投資に関するトラブル》

【行っているか】



《⑭その他》

具体的回答内容 「租税教室」 1件

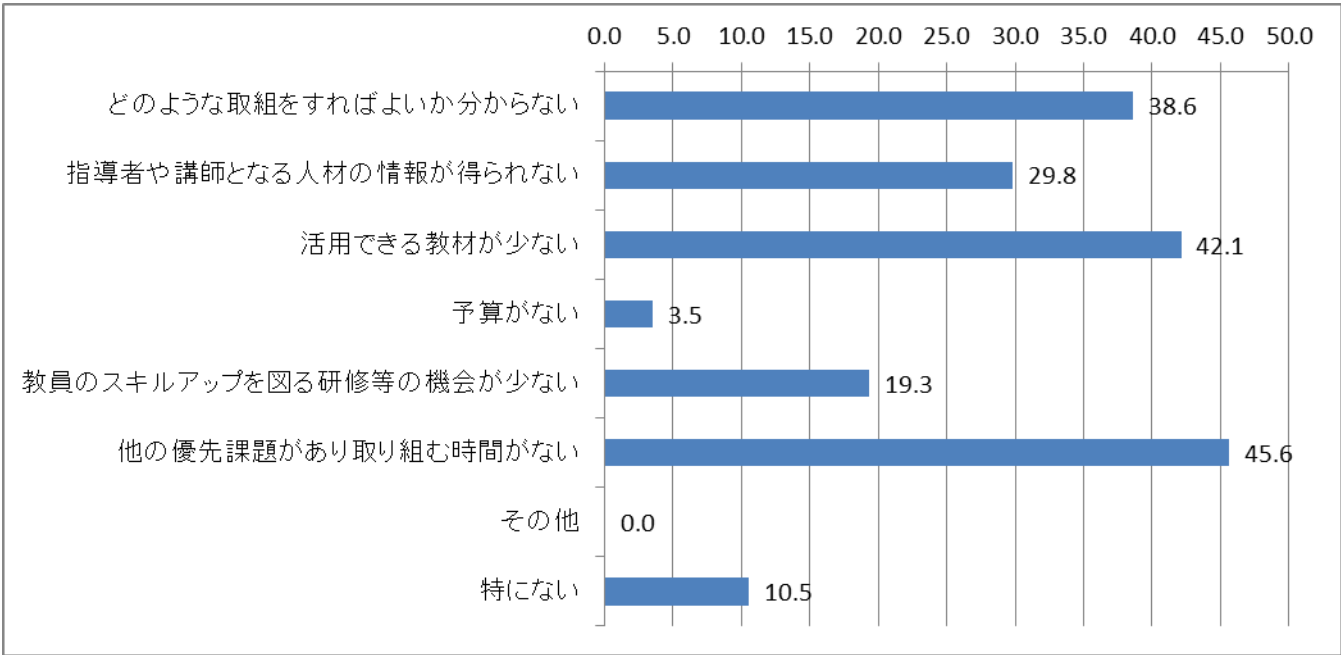
《⑮消費者教育に関する取組を行っていない》

回答数 2件

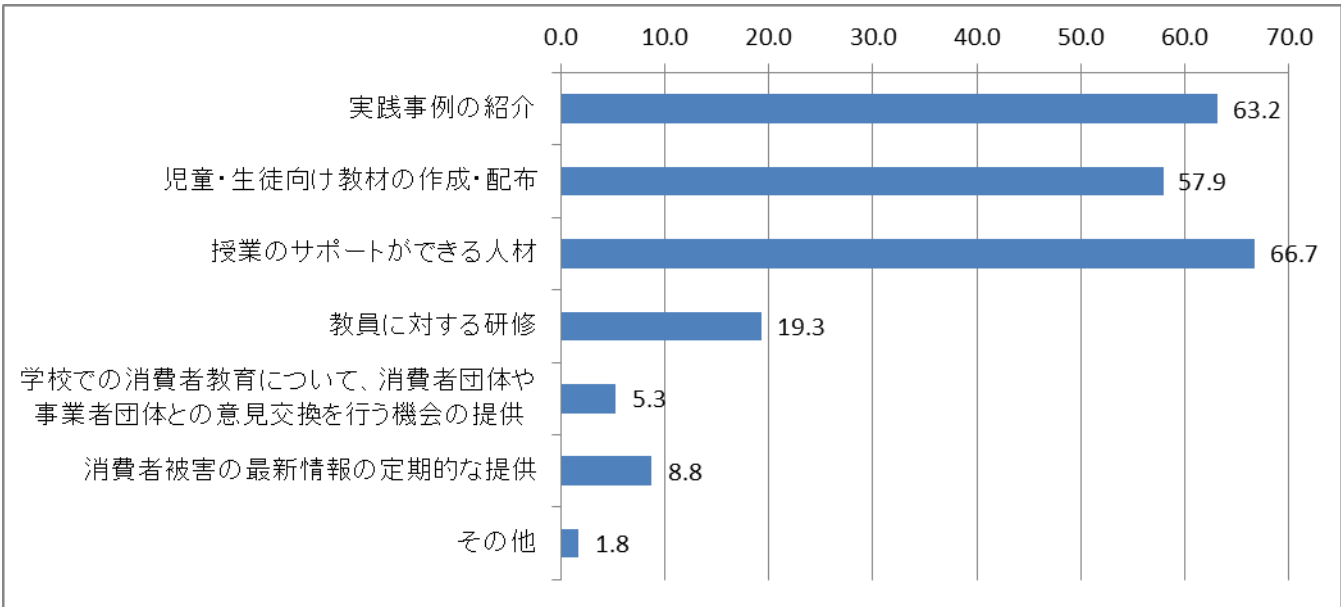
《行われている割合順》

	項目	行っている割合(%)
1	情報モラル教育（携帯電話・スマートフォン・インターネットに関する教育 等）	88.1
2	消費者と販売者の関係について（スーパーマーケット見学等）	81.0
2	食育に関すること	81.0
3	お金について（お金の大切さ、役割、お小遣いの使い方 等）	78.6
4	食品や製品の安全と表示について	71.4
5	環境教育に関すること（グリーンコンシューマー 等）	69.0
6	プリペイドカード、クレジットカードの仕組みについて	21.4
7	クーリング・オフ制度等	14.3
8	悪質商法、振り込め詐欺、投資詐欺 等	7.1
9	多重債務・家計管理	4.8
9	消費者教育に関する取組を行っていない	4.8
10	その他（租税教室）	2.4
10	フェアトレード	2.4
11	契約とはなにか	0.0
11	金融商品・投資に関するトラブル	0.0

問2 消費者教育を推進するに当たって、課題となっていることを選んでください。【複数回答可】

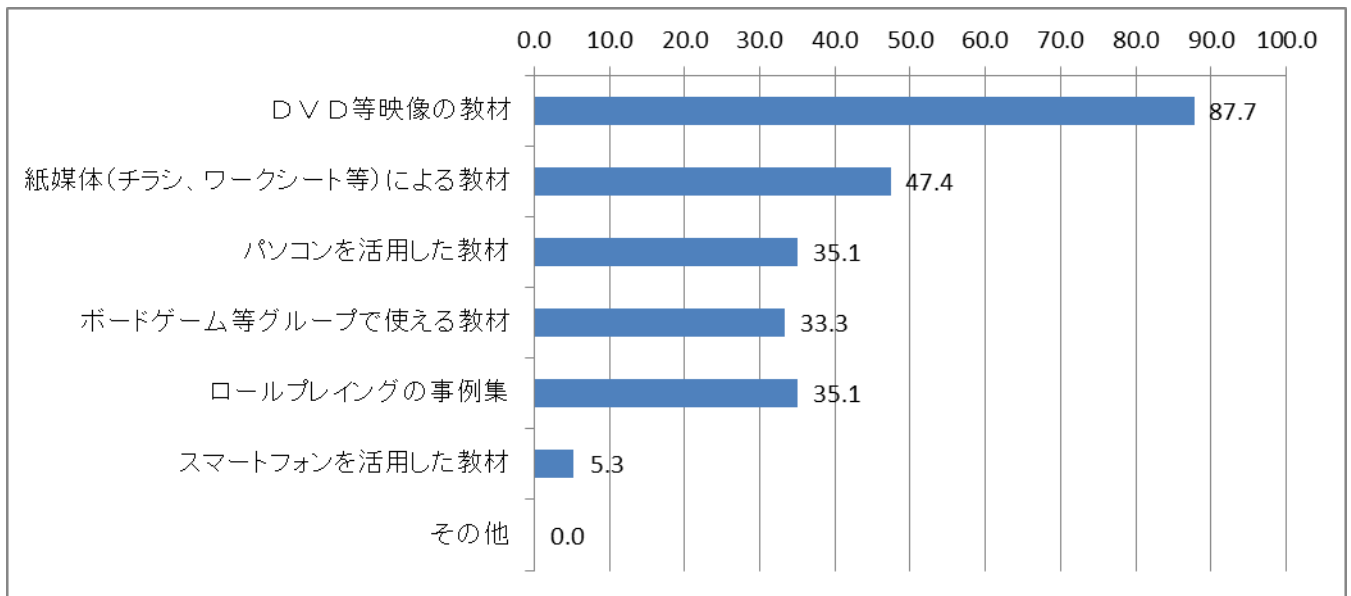


問3 学校において消費者教育を推進するために必要だと思うことを選んでください。【複数回答可】

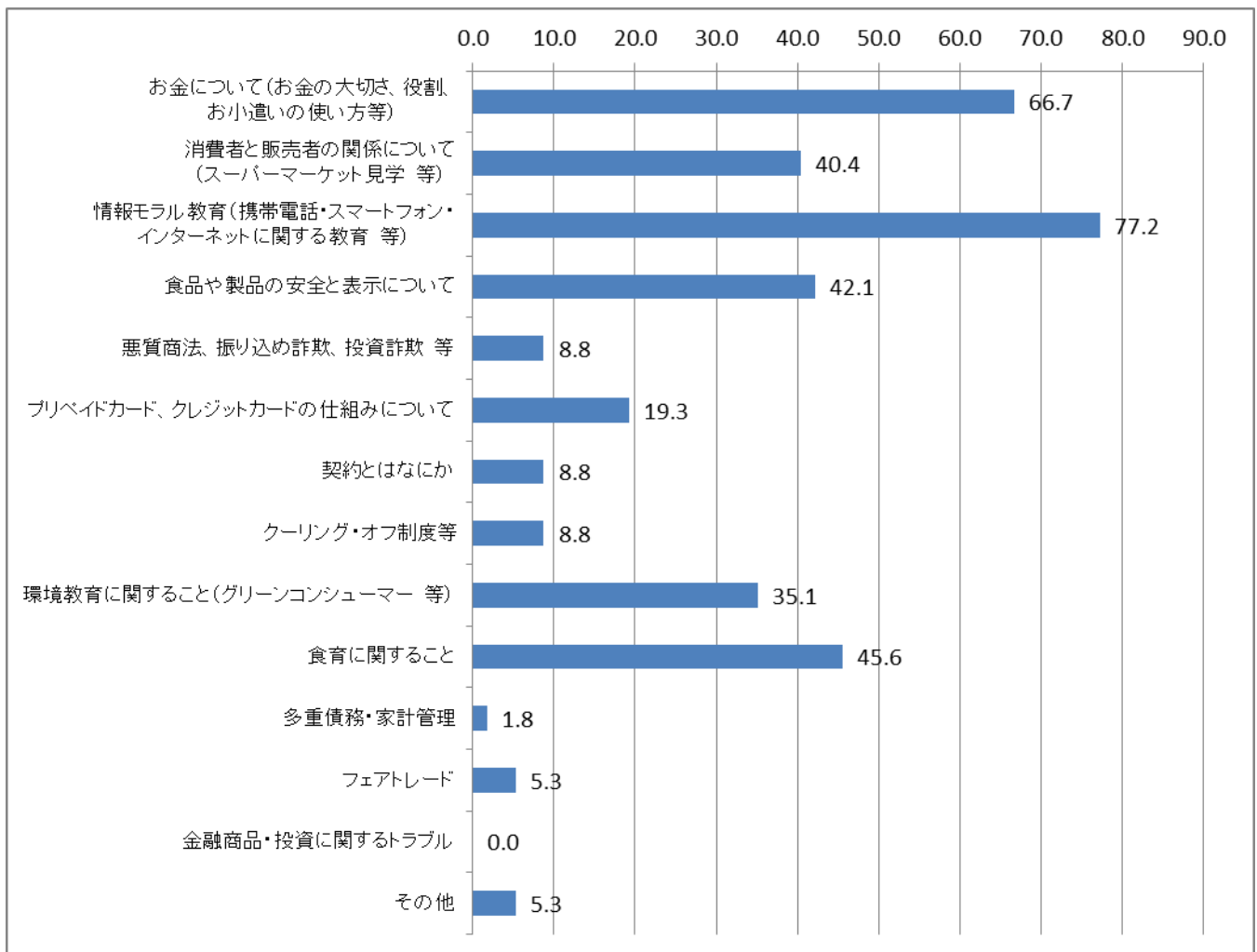


「その他」の具体的内容 … 時間数確保（1件）

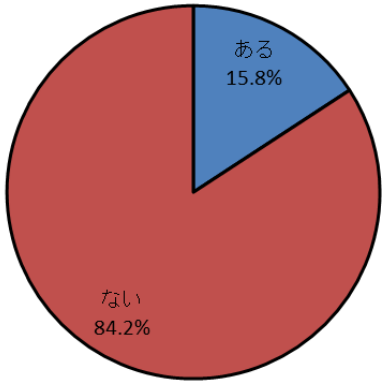
問4 授業等で活用しやすいまたは効果があると思われる教材を選んでください。【複数回答可】



問5 消費者問題に関する教材で、希望するテーマを選んでください。【複数回答可】

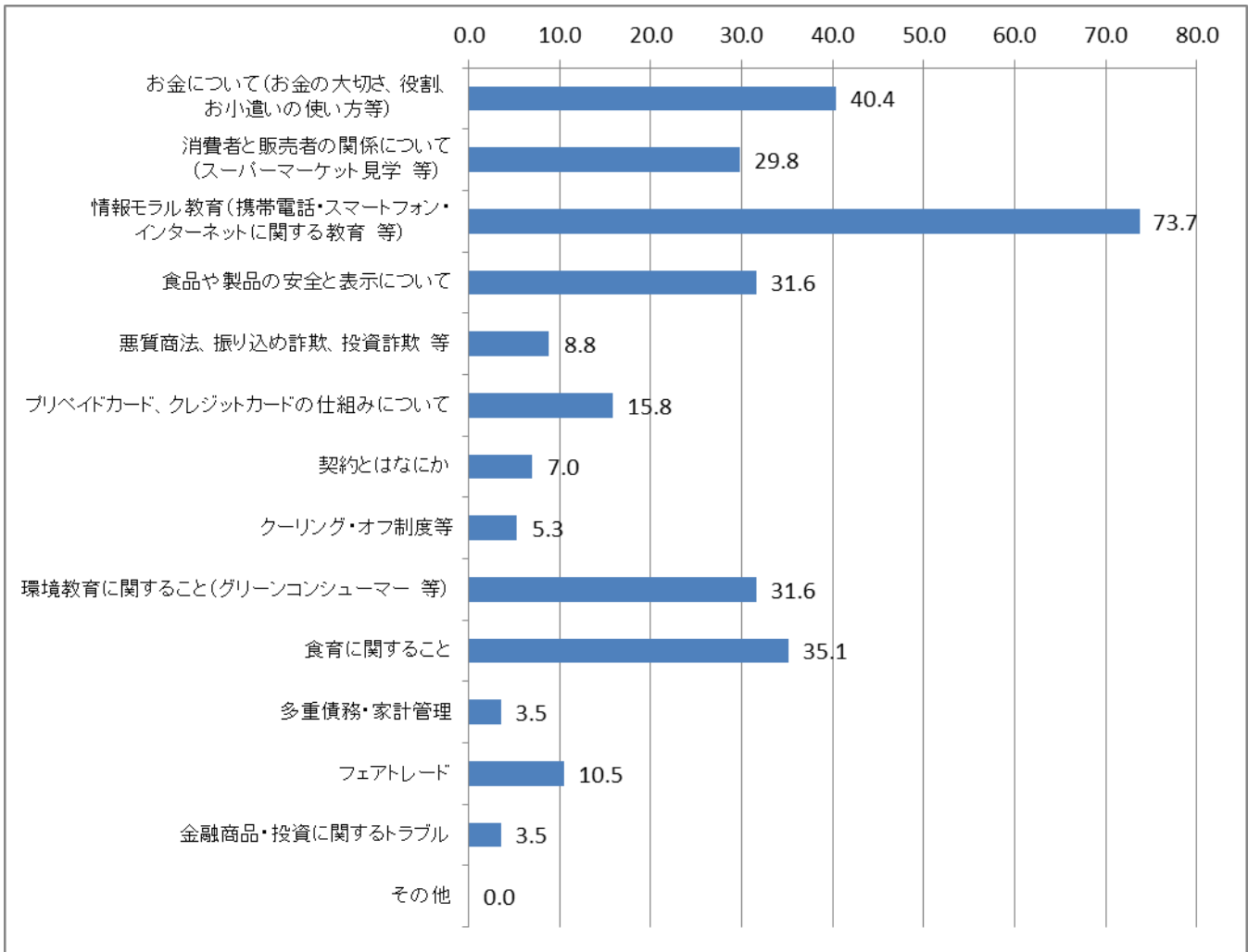


問6 あなたは今までに消費者教育の研修会などに参加したことがありますか。



- 《どのような研修ですか》
- JIKA、フェアトレード、貿易など
 - 金融庁の金銭教育研修会
 - 大阪府消費生活センターの研修
 - 環境教育に関する実践例の報告
 - 小中連携での、児童生徒のネットいじめの報告とその対処法などを話し合う会
 - 家庭科初研研修会（3件）
 - 食育・情報モラル教育
 - 所費生活センター主催の研修

問7 どのようなテーマの研修会に参加したいと思いますか。【複数回答可】



問8 その他消費者教育に関してご意見がございましたらご記入ください。【自由記述】

- 3年生の社会科におけるスーパーマーケット見学は、子どもたちがほぼ初めて消費者を意識できる単元だと思うので、家庭で「買い物に対するこだわり」をインタビューするなど、丁寧に取り組んでいきたいです。
- 家庭でも話し合うきっかけとなるような資料もあればいいなと思います。
- 「消費者教育」は、市民の教育活動として不可欠な事であるが、あえて学校カリキュラムで取り上げる必要があるのか疑問である。すでに各学年で社会科等で学習している。今後、基本計画等を策定するのであれば、教育関係者を含めた策定委員会等で充分審議していただきたい。例えば、ESDの考え方にそったカリキュラムの中に「消費者教育」を含めた形で、教育活動で実践することはできる。現行の小学校の各教科カリキュラムの中に、消費者教育に関する内容がどれくらいあるかを、消費生活センターが把握されることを望みます。
- 総合でしっかりできたらいいと思いました。
- 情報モラル教育は全ての学校で保護者向けにしていく必要があると思う。
- 世間や学校内で問題がおきると、それに対処する形で消費者教育が行われているのが現状です。しかし、現場では多忙とその他の業務におわれて、なかなかそこにまで手が回りにくいです。話に明るい人が出前授業をしていただけると大変ありがたいし、子どもたちも専門的な知識等を身につけられる機会が増えると思います。